



# LETTERS

2017年 12月発行

公益財団法人  
佐倉国際交流基金

〒285-0025  
佐倉市鶴木町 198 番地 2  
TEL・FAX 043-484-6326

## 日本語講座のつどい



スピーチの部参加者



日本語講座のつどい



受付風景



ネパールの歌



合唱を各国語で



紫ジュース  
(チチャモラダ)



紫ジュースの説明



詩吟



カエルの歌 輪唱

### ご挨拶

#### スピーチの部

1. ベトナムを知ってください  
ドー ユイ トエ(ベトナム)
2. 私の生まれた国  
バンザラ マンディラ(ネパール)
3. 好きなことをやる  
ファイザル リサ(インドネシア)
4. 日本に来て感じた事  
シュウ ションキ(蕭 進傑)(中国)
5. 日本人の底力  
グエン テ タン タオ(ベトナム)
6. 日本での生活  
ウー ハイウン(于 海云)(中国)
7. 一番大切な物  
ダン ニュ クイン(ベトナム)
8. 日本語の面白さと不思議さ  
グエン ティ リン ダ(ベトナム)
9. 今年の夏休み  
イバニエズ レイセン(フィリピン)
10. 友達のスバラしさ  
カン ティ リエン(ベトナム)
11. おせっかいおばさん  
エンドウ エリ (遠藤恵莉)(中国)

#### 交流の部

1. 紫ジュースをどうぞ!
  2. カエルの歌 輪唱と 朗読
  3. ネパールの歌
  4. 詩吟 (漢詩の暗誦)
  5. ネパールの踊り
  6. スリランカの踊り
  7. ダンス「アブラハムの子」
  8. 福引
  9. 合唱「幸せなら手をたたこう」
- 閉会のご挨拶



スリランカの踊り



福引当たりますように!



ダンス アブラハムの子



ネパールの踊り



幸せなら手をたたこう



福引に当たりました

## 日本語講座のつどい

「第1回日本語講座のつどい」を、11月19日(日)佐倉市立中央公民館にて、開催いたしました。「佐倉国際交流基金 日本語講座」の学習者・関係者が一同に集い、充実した時間を過ごしました。



今村 運営委員長

幸い天気にも恵まれ、ボランティアの皆さんはじめ大勢の方々の協力のもと、成功裏に、楽しく開催することができました。

佐倉国際交流基金(SIEF)の日本語講座運営委員会では、日本語を学習している皆さんに中心になっていただき、そのご家族や友人といった広がりを出発点として、外国人どうし、そして日本人の皆さんと楽しく交流できる場を作ってみよう、という狙いで、この「日本語講座のつどい」を立ち上げました。

第1部では、日頃の日本語学習の成果をスピーチの発表という形で披露し、第2部では、外国人の皆さんのそれぞれの母国の歌や踊りを紹介しながら、茶菓や会話を楽しんでもらうという試みでした。おかげさまで、予想を上回るたくさんの皆さんにご参加いただき、スピーチも、お国自慢のパフォーマンスも、また、発表者側も見る側も、それぞれに充実した楽しい時間を過ごしていただくことができたのではないかと考えています。この催しが、今後、佐倉市に住む外国人の皆さんと日本人の交流、多文化共生のための1つのツールとして大きく育っていけばありがたいと思っています。

(今村 日本語講座運営委員長)

**第1部:** 11名のスピーチが行われました。緊張しながらも熱心に自分の考えを表現していることが理解でき、「人生とどう向き合うか」と言う問題提起や、「友人の大切さ」を体験から説き起こし、また「日頃の生活からの知恵」などもあり、いずれも「生きる上で大切なものは何か」を来場者に感じさせてくれたのではないのでしょうか。加えて、「正しい日本語と、伝える日本語」の相違から、文法の持つ意味、役割の再認識も我々日本語を教える立場への収穫でした。彼らの多くが日本を称賛し、見習いたいと言いますが、我々もまた彼らから、多くの事を学んでいることも事実です。



関口 実行委員長

今回の集いを通して、どこまでお互いの意志疎通が図れたのかを振り返り、そして「日本語講座のつどい」を彼らと共に運営し、分かち合える場にするために、今後の進め方を皆で作りに上げていきたいと思えます。

(関口 つどい実行委員長 スピーチの部担当)



藤橋 実行委員

**第2部:** 歌や踊りの演目による交流の部は日本語講座の各教室と成田日本語学校の外国人による歌や踊りでした。司会は若いベトナム女性のタオさんと日本人男性の花輪さんです。まず日本語サロンチームによる「ペルーの紫ジュースをどうぞ」の乾杯で始まり、金曜日クラスはネパールの学習者、家族や友人達は正装で、お国で有名な歌を唄ってくれました。また、スリランカの留学生は民族衣装を着て自国の踊りを披露してくれ、これら演目も見どころ満載でしたが、福引はさらに興奮が高まり、25個の景品が当たることを楽しみに待つ姿がみられました。運よく当たった方は無論、外れた方もスリルを楽しんだものと感じています。

最後に「幸せなら手をたたこう」を日本語は全員で、中国語、スペイン語、英語はそれぞれ外国人が歌いました。最後にまた日本語で歌って「交流の部」は閉会となりました。初めての試みでしたが、参加した皆様が心残りなく楽しまれたことを願ってやみません。

(藤橋 つどい実行委員 交流の部担当)

参加頂いた皆さんのアンケートから

- みんなのスピーチが素晴らしいと思います。勇気をもって大きい声で、自分の思いや国のことを話してくれました。
- 率直な意見、感想、経験をスピーチしており、感心しました。それぞれの人が苦勞しているのので、日本語のサポートなどをしたいと思いました。
- みなさんとても上手で、よく頑張っていることがうかがえました。外国人ならではの視点でのスピーチがとても興味深く、日本人参加者の視野を広げ、外国人への理解を深めるものだと思います。
- 何人かの方と話しができ、仲良くなれたことが、私にはとても有意義な時間でした。ウェルカムドリンクはサブライズでした。
- 外国から来た方々が、努力されている様子がよくわかりました。何か力になればよいと思います。このような企画、運営をありがとうございました。

# 佐倉国際スピーチコンテスト

## 【入賞者】

◇中学生「英語スピーチ」の部(敬称略)

賞	氏名	学校	タイトル
第1位	呉本 欣美	専修大学付属松戸中学校	The Challenge from my Mother
第2位	渡邊 駿太	上志津中学校	Kendo
第3位	柳川 真有	専修大学付属松戸中学校	A Gift from Cheerleading

◇中学生「英語レシテーション」の部(敬称略)

賞	氏名	学校	タイトル
第1位	石割 根夢	佐倉東中学校	Miss Evans on the Titanic
第2位	長 希光華	専修大学付属松戸中学校	A long way to a great success
第3位	里舘 海咲	千葉大学教育学部附属中学校	Malala's United Nations speech
第3位	鈴木 更彩	臼井中学校	Legendary speech at the 1992 Earth Summit by Severn Cullis-Suzuki
第3位	涌井 咲良	富里市立富里中学校	It's All About Sushi



中学生の部



小学生の部 (1~4年生)



小学生の部 (5,6年生)

「佐倉国際スピーチコンテスト」が10月22日(日)ミレニアムセンター佐倉において、開催されました。参加者は小学生50名、中学生暗唱の部23名、スピーチの部9名、外国人の部3名でした。

年々レベルアップを強く実感する小学生の部は、舞台の上でも萎縮することなく綺麗な発音でのびのびと、バレエあり、ウクレレを弾きながらのセミプロ並の歌あり、と会場を引きつけ楽しませる素晴らしい発表ができました。例年より幾分参加者が少なかったのが気になりますが、今年も抽選をせず希望者全員に参加頂けたことを嬉しく思います。



外国人の部

中学生の暗唱の部:佐倉東中3年の石割根夢さんの、自分の命を犠牲にして母子を救った感動的なMiss Evans on the Titanicが、同点で審査員を悩ませた長希光華さんの、精一杯の努力をすれば成功に導かれるというA long way to a great successと紙一重の差で一位に輝きました。13位までそれぞれ同点、1、2点の差という大接戦で、上位5名しか入賞できないのが審査員としても辛く、皆さんの英語力と共に自分に合った暗唱文の選択センスの良さにも感じ入りました。例年人気のMalala's speech、King 牧師のI have a dreamに加えSevernの有名なスピーチ、寿司の歴史、モーツァルトの天才ぶり、農業だけでなく人生訓にもなるGrowing good corns、原爆投下直後のA mother's lullabyなど実に多様で内容も濃くここ数年で最もハイレベルで素晴らしい暗唱の部でした。

スピーチの部:専修大付属松戸中学2年の呉本 欣美さんが断トツ一位でした。日本生まれの彼女が小学1年の時、両親の母国中国へ行って言語や文化も学ぶようにとのお母様のご意向で、単身上海の小学校へ。寮に住み、寂しさ、辛さに耐え、だんだんあちらの生活に慣れ、3年後日本帰国の折には日本同様中国が大好きになった、母の「獅子の子落とし」的教育方針に感謝していると、綺麗な英語で、淡々と丁寧に語り、聞き手を熱く感動させる、素晴らしいものでした。

2位から6位までは僅差の接戦で、剣道の極意、笑顔の大切さ、動物の安楽死など、深い内容ながら自分の考えを中学生らしくしっかり伝えてくれました。

外国人の部はイタリア、ブラジル、米国からの高校生1名を含む3名の男性でした。3人とも日本語での長いスピーチはほぼ初めてで、しっかり原稿を書いたのにアガってしまって何を話しているのか分からなくなった!との感想も。大人になると外国語で多勢の前で話すことの大変さと、「日本語が如何に難しいか、分かった」との宍倉理事長のお言葉を実感しました。(岡村 運営委員長)

## ご案内



### ◇国立歴史民俗博物館◇

「国立公園 今昔」(第4展示室)

会期 2017年8月1日(火)～2018年1月8日(月祝)

\*最新情報は、HP等でご覧下さい。

### ◇DIC川村記念美術館◇

ブリジット・ライリー(仮称)

会期 2018年4月14日(土)～8月26日(日)

\*最新情報は、HP等でご覧下さい。



## 賛助会員紹介

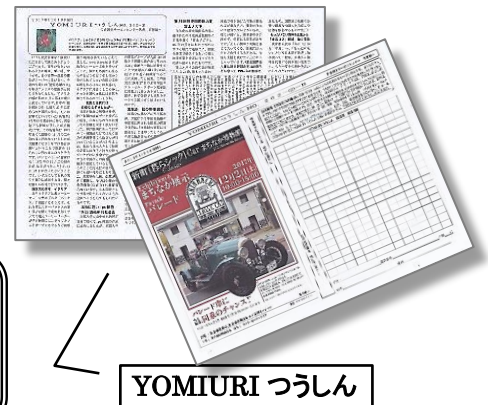
### (有)佐倉読売サービスセンター

読売新聞、報知新聞、千葉日報、デイリースポーツ他の新聞をお届けして65年になります。

昨今、インターネットなどの情報ツールが浸透して新聞を読む習慣がなくなって来たと言われますが、まだまだ新聞の愛読者は大勢いらっしゃいます。当サービスセンターでは長期にわたって新聞を購読していただいている方には「さくら会員」となっており、毎月ポイントを貯めてお好きな品物と交換させていただいています。

また、販売店と読者の皆さまをつなぐ情報紙「YOMIURI つうしん」を毎月第3日曜日に発行、佐倉の町の話やイベントのお知らせ、また隔月には読者の方からの投稿文を掲載させていただいています。

「地域の皆様とともに！」をモットーにスタッフ一同日々業務に励んでおります。



〒285-0025 佐倉市鏑木町 1205-2

電話 043-484-2148 0120-38-2148 (フリーダイヤル)

<http://www.ycsakura.com>

(代表) 石渡 清一

### SIEF 賛助会員のご紹介

#### 会員特典

- ・佐倉市の国際交流活動についての情報「SIEF Letters」の郵送
- ・佐倉国際交流基金(SIEF)主催のイベントの開催詳細情報をメールでご連絡
- ・賛助会員には、次のような割引制度があります。(個人会員のみ)
  1. DIC川村記念美術館入館料の割引(団体料金)
  2. 市民音楽ホール主催のコンサートチケット割引(10%)
  3. 国立歴史民俗博物館入場料の割引(団体料金)

#### 会費(年額)

団体・法人会員・・・1口 10,000円  
個人会員・・・1口 2,000円

外国人会員・・・1口 1,000円  
学生会員(22歳未満)・・・1口 1,000円

### 外国人のための生活相談

電話相談、状況によって面談を。行政などの依頼を受けて、相談員と登録ボランティアが行政や他の外国人支援団体などと協力して、外国人に対する直接支援活動を実施しています。

スペイン語・英語・中国語【毎火曜日・毎木曜日】時間：10:00～16:00 場所：事務局 他

\* 事前の予約は、事務局まで(電話・FAX 043-484-6326 メール [info@sief.jp](mailto:info@sief.jp))

※詳しくは、SIEF HP(<http://www.sief.jp>)をご覧ください。

#### 公益財団法人 佐倉国際交流基金 事務局(SIEF)

〒285-0025 佐倉市鏑木町 198 番地 2 レインボープラザ佐倉 2F

電話・Fax 043-484-6326 (月～金 9:00～17:00)

HP: <http://www.sief.jp>

Email: [info@sief.jp](mailto:info@sief.jp)